



# 病院機能評価受審に向けて

病院機能評価受審WG代表 病院医学教育センター センター長 ひろせ まさひろ  
廣瀬 昌博

公益財団法人日本医療機能評価機構では、本年4月から病院種別に特定機能病院を対象とする「一般病院3」を加えた病院機能評価を開始しました。これは、一般病院2では、特定機能病院の役割・機能を十分に評価できないことや病院のガバナンス強化についての社会的要請の高まりに対応するものです。しかも、病院活動を継続的に改善する仕組みを有することが求められています。

そのようなことから、受審前に提出する「自己評価調査票」を作成するにあたって、本院でこれまで重要とされながら、なかなか実施できていなかった病院活動のうち、褥瘡対策、抗菌薬適正使用、肺塞栓・深部静脈血栓防止、画像検査結果情報共有、PNS®(Partnership Nursing System)看護活動推進、術後合併症低減、急変時対応のRapid response system推進、高度外傷センター設置効果検証、患者満足度向上および地域連携推進の10個のテーマについて、ミニWGを設置しました。まずは、それぞれの実態を可視化し、評価し、その対応策を提案し、実行するというPDCAサイクルを循環することで、病院活動の継続的改善・向上を目指しています。

## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

8月15日～9月14日

対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名・講師名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
8/18(土) 17:45～19:00	第22回出雲リハビリテーション研修会 「慢性疼痛に対するリハビリテーション診療のコツ-認知行動療法追加による効果アップ-」 新潟大学歯学部総合病院 リハビリテーション科 病院教授 木村 慎二 先生	★ 出雲医師会館	医療 本学	出雲リハビリテーション 研修会
8/19(日) 14:30～17:00	平成30年度認知症研修会「若年性認知症の理解と共に、私達ができること」 医療法人藤本クリニック理事長 藤本 直規 先生 認知症本人の相談窓口「おれんじドア」代表 丹野 智文 先生 公益社団法人「認知症の人と家族の会」宮城県支部 副代表 若生 栄子 先生	島根大学医学部 臨床講義棟 2階大講義室	医療 その他	島根大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター
8/22(水) 17:30～18:30	2018年度栄養セミナー「静脈栄養1」 島根大学医学部附属病院 栄養サポートセンター長 矢野 彰三 准教授	島根大学医学部附属病院 みらい棟 4階ギャラクシー	医療 本学	栄養サポートセンター
8/23(木) 18:15～20:30	第22回しまね手外科・末梢神経セミナー 「末梢神経再生研究の最前線」 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 田中 啓之 先生 「関節リウマチ手関節に対する手術戦略-機能向上をめざして-」 北海道大学大学院医学研究科 機能再生医学分野 整形外科教室 岩崎 倫政 先生	★ ホテル一畑 2階 平安の間	医療 本学	島根大学医学部 整形外科
8/26(日) 12:30～17:00	市民公開講座 「食べ物で病気を予防し!食べ物で病気を治そう!!」 関西電力病院病院長、京都大学名誉教授 千葉 勉 先生 製鉄記念広畑病院副院長 巽 祥太郎 先生 兵庫県立姫路循環器病センター副院長 川合 宏哉 先生 島根大学医学部附属病院リハビリテーション科 理学療法士 川本 晃平 氏 佐々木 翔太 氏 錦織 航 氏 JDDW2018 第60回日本消化器病学会大会会長 木下 芳一 教授	★ ホテル一畑 サンシャインホール	一般	JDDW2018第60回 日本消化器病学会大会、 島根大学医学部第2内科
8/29(水) 17:30～18:30	2018年度栄養セミナー「静脈栄養2」 島根大学医学部附属病院 栄養サポートセンター長 矢野 彰三 准教授	島根大学医学部附属病院 みらい棟 4階ギャラクシー	医療 本学	栄養サポートセンター
8/31(火) 18:30～20:00	島根がんサポートケア研究会 「頭頸部癌患者における集学的治療後の嚥下障害の現状と対応」(仮題) 島根大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 青井 典明 准教授 「OncoNephrology～がん薬物療法時の腎障害を中心に～」 宮崎大学医学部医学科 血液・血管先端医療学講座 藤本 昭一 先生	島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟カンファレンスルーム 「だんだん」	医療 本学	協和発酵キリン株式会社
9/12(水) 17:30～18:30	2018年度栄養セミナー「症例1:肝硬変、症例2:熱傷」 島根大学医学部附属病院 栄養サポートセンター長 矢野 彰三 准教授	島根大学医学部附属病院 みらい棟 4階ギャラクシー	医療 本学	栄養サポートセンター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



# NEWS



## CONTENTS

- ・ 教授就任のご挨拶
- ・ ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術についてお知らせします
- ・ 病院機能評価受審に向けて
- ・ 島根大学医学部における研修会・セミナー開催情報



## 教授就任のご挨拶



臨床研究センター 教授 おおの さとし  
大野 智

2018年8月1日付けで島根大学医学部附属病院臨床研究センター教授に就任しました。

1998年に島根医科大学を卒業後、金沢大学、大阪大学、東京女子医科大学等にて自らトランスレーショナルリサーチ及び臨床試験に取り組んできたほか、帝京大学では臨床研究センターの立ち上げと臨床研究支援業務、大阪大学では臨床研究マネジメント業務に従事してきました。

昨今、臨床研究を取り巻く環境や社会要請は厳しさを増しています。「再生医療等の安全性の確保等に関する法律(平成26年施行)」「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成27年施行)」「個人情報の保護に関する法律(平成27年改正)」のほか、今年には「臨床研究法」が施行されました。臨床研究法が定める特定臨床研究においては、モニタリングや利益相反管理などの実施基準の順守、記録の保存などが研究実施者に義務付けられており、その対応は喫緊の課題となっています。

しかし、大学病院の使命である新しい医療の開発のためには、基礎研究の成果を臨床応用するためのトランスレーショナルリサーチ、治療効果を検証するための臨床試験を積極的に推進し、その研究成果を世界に向けて発信していかなければなりません。

島根大学のビジョンと戦略には「多様な研究を推進することで、様々な課題を解決する研究成果を創出し、新たな価値を創造する」とあります。島根大学が一丸となって研究に取り組むための支援組織である臨床研究センターの一員として尽力してまいります。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術についてお知らせします

泌尿器科学 准教授 やすもと ひろあき  
安本 博晃

4月のロボット支援手術の保険適用拡大に伴い、6月から当院泌尿器科でもロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を実施しておりますので、お知らせいたします。

膀胱がんの2013年国内罹患数は33,339人、部位別では第9位(男女計)、2016年の膀胱がん死亡数は8,432人、部位別では第13位(男女計)となっており、罹患数、死亡数とも未だ増加傾向です(1)。

高齢者に多く、男女比は4.5対1、リスク因子は喫煙(4倍)、喫煙歴(2倍)、職業性発癌物質(ナフチラミン、ベンジジン、アミノピフェニル、ニトロサミン)、薬剤(フェナセチン、シクロフォスファミド)、放射線療法後の二次発がん、慢性炎症(ビルハルツ住血吸虫症、膀胱結石、神経因性膀胱)などです。痛みを伴わない血尿(無症候性肉眼的血尿)が主な症状ですが、一旦消失し、長期間再出血しないこともあるため、専門医受診が遅れることもあります。1回でも肉眼的血尿を認めた場合は膀胱がんの除外が必要です。

筋層非浸潤性膀胱がんは経尿道的内視鏡治療であるTURBT(Transurethral Resection of Bladder Tumor)で治療できますが、筋層浸潤性膀胱がんは膀胱全摘除術と尿路変更術が必要となります(図1)。従来、膀胱全摘除術は開放手術で侵襲が大きいとされてきました。前立腺がん、腎細胞がんに続いてロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術が保険適用になったことにより、腹腔内での精緻な手術操作が可能で出血も少ない低侵襲治療が提供できるようになりました。臨床研究も含め本院でロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を実施した8例と同時期に開放手術を行った64例を比較すると、手術時間は長くなる傾向にあるものの、術中出血量は少ないという結果でした(図2)。今後は尿路変更術にもロボット支援手術を導入し、さらに患者さんに優しい医療をめざす方針です。

(1) 国立がん研究センター がん情報サービス  
(<https://ganjoho.jp/public/index.html>)

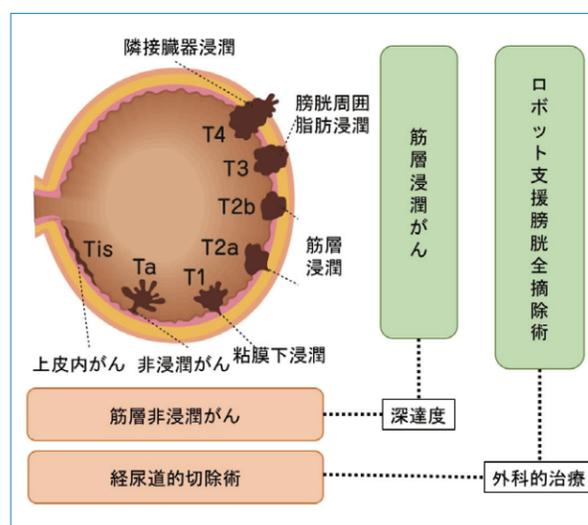


図1 膀胱がんの深達度と治療の目安  
国立がん研究センター がん情報サービス 各種がん 154 膀胱がん p8を改変

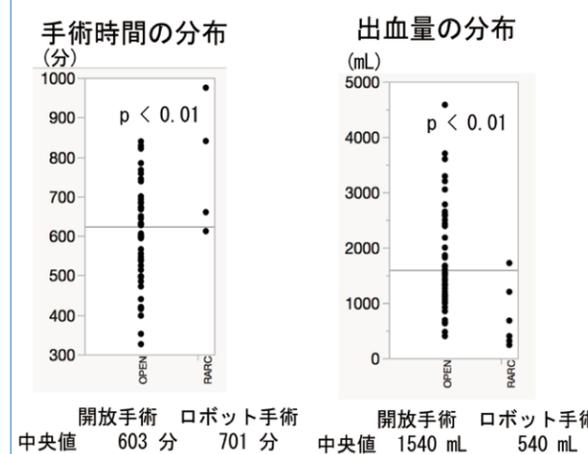


図2 本院での膀胱全摘除術の開放手術とロボット手術の比較



# ご報告

## 学童保育施設が開設しました！ ～ 愛称 キッズクラブ太陽 ～

ワークバランス支援室 室長 かんだ まりこ  
神田 眞理子

平成30年7月23日(月)、待望の出雲キャンパス学童保育施設が完成し、児童の保護者も交えて開所記念セレモニーが開催されました。セレモニーでは服部泰直学長、井川幹夫病院長、そして運営業者である株式会社さんびるの田中正彦社長の挨拶があり、続いてテープカットを行い、盛大に催されました。なお、保育施設の愛称は、明るく元気な子どもたちの成長への思いから、病院長の考案により“キッズクラブ太陽”と決定しました。皆さんが利用しやすく、そして働きやすい職場環境に繋がることを願っています。以下は学童保育施設の主な概要です。



### ● 保育日・保育時間

- ① 平日(月～金曜日)  
放課後～19:00(延長20:00まで)
- ② 土曜日、春夏冬休み、小学校の学校行事による振替休日  
8:00～19:00(延長20:00まで)
- ③ 日曜日・祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)はお休み  
※スポット利用も可能。

### ● 学校までの迎え

出雲市内の近隣小学校(塩冶小を除く)への迎えは、各小学校の預かり児童数が確定した段階で、実施する学校を検討し、決定する。(実費)

### ● 学習サポート

宿題のバックアップとして学習サポートを行い、保育料に含める。

### ● 学習塾の実施

一定程度の希望が見込まれた場合には、大学との協議により、学童保育施設内で習字、英会話、学習塾等を実施する。(別料金)



# ご報告

## 出雲市民フォーラム 多数のご参加ありがとうございました！

6月30日(土)「出雲市民フォーラム『島根大学の最新治療』2018 夏」を開催しました。今回は、定員(100名)を上回るお申込みをいただき、急遽、会場を医学部構内ゼブラ棟カンファレンスルームから臨床小講堂へ変更しました。

当日は、大雨が降りしきる嵐のような悪天候となり、来場者は申込者数を下回るのではという見込みが大方でしたが、予想を遥かに超える144名の参加者がありました。

会場は開始前から熱気に包まれ、出雲市民フォーラムの定着とその人気の高さがうかがわれました。

病院長挨拶の後、3名の講師が順番に各25分間の講演を行いました。

参加者は真剣な表情で講師の話に聞き入り、その後の質疑応答も活発に行われました。

アンケートのコメント欄には、「説明がわかりやすかった。質問に対する回答が的確でとてもよかった。」、「新しく日々開発されている術式など、また医学の進歩に大変驚くと共に感動しました。」、「健康管理において、三つとも大変有意義なお話でした。有難うございました。院長以下、体制が素晴らしいと感激いたしました。」など、感動の言葉やお褒めの言葉をいただきました。

出雲市民フォーラムは、当院と地域の皆様のコミュニケーションの場であり、双方を繋ぐ貴重な機会です。今後も皆様のご期待に応え、市民フォーラムを開催してまいります。

### 島根大学病院の最新治療

- |        |   |                  |
|--------|---|------------------|
| 演<br>題 | ①「骨粗しょう症の最新治療:要介護や寝たきりにならないために」         | 内分泌代謝内科 教授 杉本 利嗣 |
|        | ②「アレルギー疾患の最先端医療:じんましん、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎」 | 皮膚科 教授 森田 栄伸     |
|        | ③「回復が早い胸腔鏡下(きょうくうきょうか)手術」               | 呼吸器外科 准教授 岸本 晃司  |



講演の様子



質疑応答の様子





# ご報告

## 職員満足度調査を実施しました！

院長 いがわ みきお  
井川 幹夫

当院では、より質の高い医療を提供する職場環境を整備することを目的として、医学部附属病院の業務に従事する職員を対象に職員満足度アンケート調査を年に2回実施し、結果内容の継続的な検証を行っています。

平成30年5月に実施した今回のアンケート調査では、対象者1,688名に対して1,078名からの回答を得て、その回答率は63.9%でした。

また、アンケートに自由記載欄を設け、職員の意見・要望をもとに、本院の更なる職場環境の改善を行っています。

アンケート調査での結果を受けて、手当の新設、職員駐車場の整備、退院支援職員及び医師事務作業補助者の事務室の確保等の改善を行っています(図1、図2)。

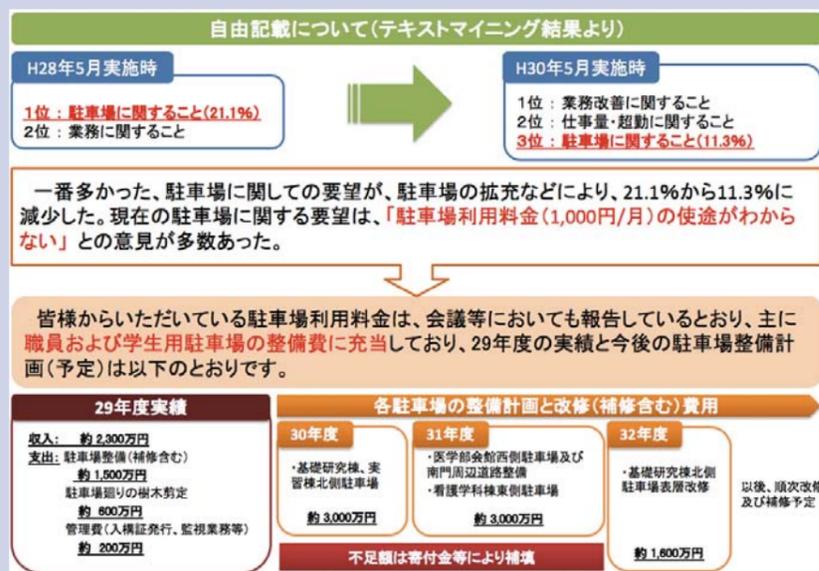
今後も職場環境の改善のため、職員皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

### ○以下、平成30年6月28日開催病院運営方針に関する説明会スライド資料より抜粋

図1.平成29年度病院職員満足度調査の自由記載等に対応した改善事項

- ①手当の新設等
  - ▶小児科・麻酔科医師への分娩手当支給開始。
  - ▶看護部副看護部長を管理職の対象とし、俸給の特別調整額の適用とすることとした。
- ②医師確保
  - ▶高度外傷センターに医師2名(助教)を採用するとともに、期間限定ではあるが、医師2名を医員として雇用了。
- ③職員駐車場の整備
  - ▶職員駐車場として、R1・動物実験施設南側駐車場(53台増設)、看護部宿舎北側駐車場(31台増設)を整備。
  - ▶東門～講義棟アスファルト舗装改修、駐車場穴埋め補修。
  - ▶減速表示、カーブミラー設置、許可申請区分の表示看板を設置。
- ④退院支援職員、医師事務作業補助者の事務室の確保
  - ▶外来棟3階のカンファレンス室を、退院支援職員、医師事務作業補助者の事務室に転換。

図2.対応した改善事項に関する効果(駐車場)



# ご報告

## キャンパスクリーンデー(6/27)の実施について

医学部会計課施設管理室長 よねはら まさたか  
米原 昌隆

6月5日は環境基本法で定められた「環境の日」です。これに基づき6月は「環境月間」と定められています。この月間に合わせて島根大学医学部では毎年出雲キャンパスクリーンデー(構内一斉清掃作業)を実施しています。元々は医学部区域を中心に実施してきましたが、昨年度から活動を開始した附属病院の環境整備ボランティアの清掃作業と連携して附属病院区域の環境整備の充実を図るため、本年度から出雲キャンパス全体の取組として6月27日に第1回キャンパスクリーンデーを実施しました。

当日は、開始前まで小雨混じりのあいにくの天候となり実施が危ぶまれましたが、途中から日差しが差し込む中を、約100名の職員が診療器具を持つ手を鎌や箒に持ち替え、医学部の建物周辺や附属病院建物に隣接した南側区域の清掃作業に従事し、さっぱりとした景観にさせていただきました。





# ご報告

島大病院ニュース 2018年8月



Lilica\*さんの演奏の様子



井川病院長の挨拶



ほっとサロン世話人 小林さんの挨拶

## 「ほっとサロン12周年記念コンサート」が開催されました

がん患者・家族が気軽に語り合う場所として、毎週月曜日に開催されている「ほっとサロン」が12周年を迎えられました。おめでとうございます。

今年のコンサートは、エレクトーン奏者のLilica\*さんをお迎えしました。玄関ホールにエレクトーンの音色が響き渡り、何とも言えない澄みきった空間を、ご参加いただいた皆さんと共にすることができました。

がん患者さんご家族が、不安や孤独感が和らぎ、笑顔が増えるためにも、ほっとサロンでの集い、語らいは大切です。これからもほっとサロンが長く続くことを願っています。

### 「ほっとサロン」のご案内

**日時** 毎週月曜日 10時～15時

**場所** 外来診療棟3階 外来化学療法室前

**対象者** 患者さん、ご家族等 お気軽に、ご参加ください

**問合せ先** がん患者家族サポートセンター TEL: 0853-20-2518・2545



平成30年8月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# お知らせ

島大病院ニュース 2018年8月

## 医師会・歯科医師会会員の方限定 当院休日人間ドック(予約状況を含む)のご案内

臨床検査科 助教 塩田 由利  
しおた ゆり  
塩田 由利

昨年度も多くの先生方に当院休日ドックを受検いただき、誠に有難うございました。今年度も医師会・歯科医師会会員の方を対象に休日人間ドックを行います。日常、診療にお忙しい先生方の健康チェックにぜひお役立てください。

すでに医師会・歯科医師会会報誌を通じてご案内させていただき、お陰様で9月30日のMRI検査、胃がんドック、心臓ドック、11月11日の胃がんドックは好評にて定員に達しました。残り僅かのオプションもございますので、ご希望の先生は下記問い合わせ先に照会の上、ファックスにてお申込みください。

今年の実施日: 9月30日(日)、11月11日(日)、12月9日(日)の3日間

- 検査の待ち時間ができるだけ少なくなるように時間配分しています!
- 今年は全ての日程で婦人科ドックの受検が可能です!
- 基本コースを省略してオプションコースのみの受検もOKです!

問合せ先 臨床検査科 TEL&FAX: 0853-20-2559 [dock@med.shimane-u.ac.jp](mailto:dock@med.shimane-u.ac.jp)

留守電にお名前・連絡先・ご用件をお話し下さい。後日担当者から連絡いたします。

(※1)9/30,11/11は受付終了、(※2)9/30受付終了

基本コース	料金 24,300円	オプションコース名	検査内容	料金
診察等	内科診察、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力	胃癌ドック(※1)	胃内視鏡	9,720円
胸部健診	心電図(12誘導)、胸部X線撮影(胸部ドック選択者は不要)	胸部ドック	胸部単純CT検査	12,960円
眼科	眼底カメラ撮影	乳癌ドック	マンモグラフィ	4,320円
尿検査	尿中一般物質半定量(比重、pH、糖、蛋白、ケトン体、ビリルビン、ウロビリノーゲン、亜硝酸塩、白血球、ヘリコバクター抗体)	心臓ドック(※2)	超音波検査	7,560円
便検査	便中ヘモグロビン	動脈硬化チェック	中心血圧測定、頸動脈超音波検査、脈波測定(3-4誘導)	4,320円
血液一般	血液検査一般(WBC、RBC、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC、PLT)、血液像(好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球)	脳ドック(※2)	MRI検査	18,360円
生化学検査	TP、Alb、T-Bil、AST、ALT、LDH、ALP、γ-GTP、T-cho、HDL-Cho、LDL-Cho、LDL/HDL、TG、BUN、Crea、Glu、HbA1c、UA、CRP	頸椎症ドック(※2)	MRI検査	17,280円
肝炎マーカー	HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体	腰椎症ドック(※2)	MRI検査	17,280円
腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CYFRA、PSA(男性)、CA125(女性)	骨粗鬆症ドック	骨塩定量検査(DEXA)	2,160円
		上腹部ドック	超音波検査	4,320円
		婦人科ドック(頸部)	内診、経膈超音波検査(子宮・卵巣)、子宮頸部細胞診	5,400円
		婦人科ドック(体部)	上記+子宮内膜細胞診	8,640円
		生活習慣病遺伝子ドック	血液検査	32,940円



平成30年8月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# お知らせ

## 退院後訪問をはじめました

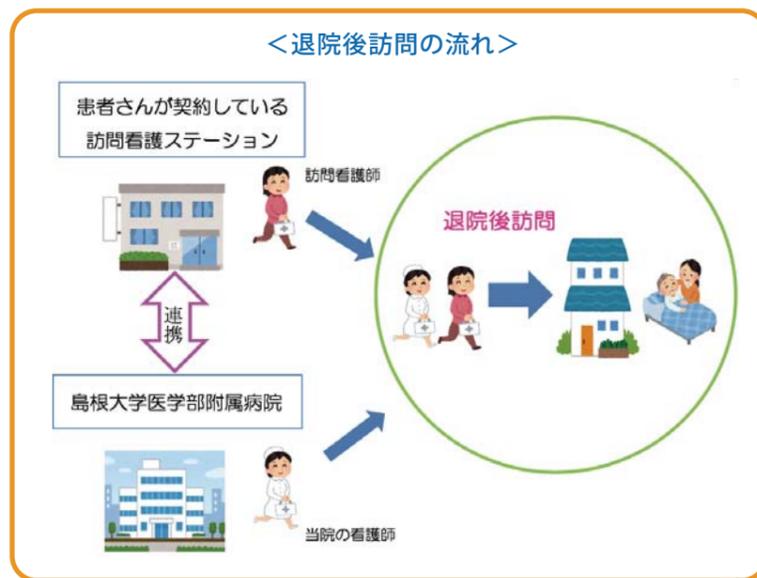
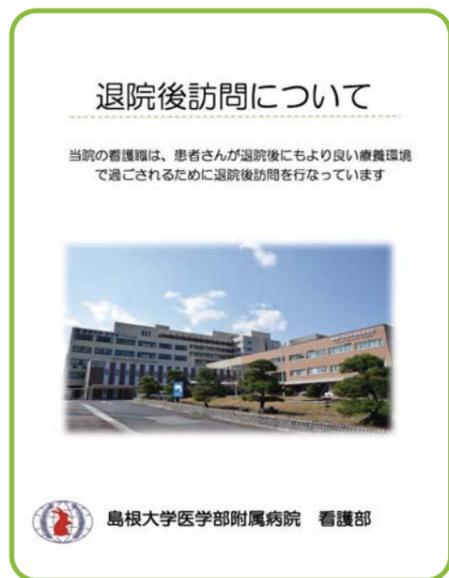
看護部長 かんだ まりこ  
神田 真理子

高齢化及び医療依存度が高い患者さんが増加し、当院でも医療処置を継続したまま退院となるケースが増加しています。入院中より患者さんの退院後の生活を見据えて自施設と地域との連携を図り、切れ目ない在宅支援の取り組みが始まっています。当院でも今年度より本格的に退院患者さんに対して、専門看護師・認定看護師、病棟看護職等が訪問看護ステーションの看護師と一緒に自宅へ訪問する「退院後訪問」を開始いたしました。

訪問看護ステーションや保険医療機関等の看護師等と連携し、患者さんの自宅に退院後訪問をする中で、患者さん、ご家族からは、「退院前に自宅に見に来てもらうのが分かっていたので安心して帰ることができました」、訪問看護師さんからは、「訪問に来て頂き、今行っているケアで大丈夫と言ってもらえ安心しました」また、「受診の間隔が延びて、楽しみにしておられる行事に出かける事ができました」との評価を頂きました。

訪問看護師の方々と共に退院後訪問を行うことは、患者さん、ご家族の安心と看護の質を保証したケアの継続、在宅療養支援に繋がります。今回、パンフレットを作成しましたので、院内外のご理解を深め、より円滑な在宅支援につながるよう、多職種との連携を進めていきたいと考えています。パンフレットは、病院玄関の1階ロビーに配置してありますのでご自由におとり下さい。

### パンフレット表紙



# ご報告

## 高精度の眼圧測定が可能になりました

眼科科学講座 教授 たにと まさき  
谷戸 正樹

緑内障は、視神経が徐々に変性・萎縮する進行性の疾患で、本邦の成人失明原因の第1位です。薬物や手術により眼圧を低く保つことが緑内障の唯一の治療であるため、眼圧を正確に評価できる事は極めて重要です。従来の眼圧計（空気式眼圧計、ゴールドマン眼圧計）は、座位でのみ測定が可能であるため、ベッド上の患者さんや検査を嫌がる小児では十分な検査ができませんでした。当院では、そのような患者さんでも眼圧測定が可能となるよう、アイケア眼圧計とトノペン眼圧計を導入しました。従来の眼圧計と異なり角膜の形状や厚さの影響を受けにくい特殊な眼圧計であるダイナミックカンタートノメーターによる眼圧測定も行っています。眼圧は、房水の産生と排出のバランスで決定されます。今年の7月からは、房水の排出率を評価できるトノグラフィー眼圧計も新たに導入しました（図1）。本機器を用いることで、薬剤や緑内障手術の効果をより高精度に評価・予測できるようになりました（図2）。緑内障による失明を1人でも減らすことを目標に日々診療を行っておりますので、引き続きましてご支援を頂戴できればと思います。



図1  
新たに導入された房水流出抵抗測定が可能な眼圧計（ニューマトノメーターモデル30クラシック）の外観

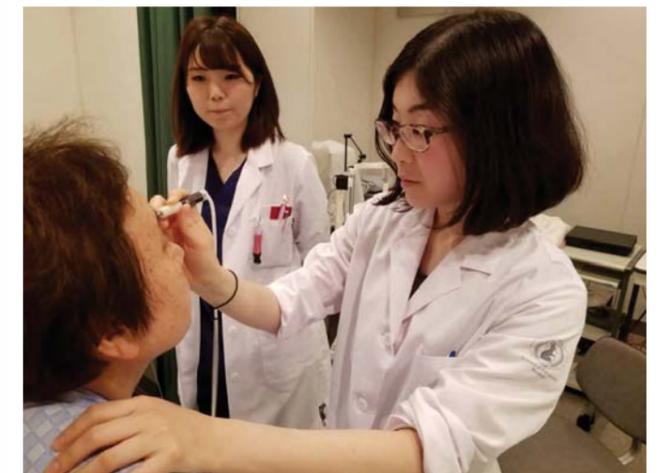


図2  
緑内障手術の術前検査として房水流出抵抗を測定している風景（患者さんの同意を得て撮影）





島大病院ニュース 2018年8月

# ご報告

## 超微細領域の手術応用で 患者さんのQOL向上を目指します

はやしだ けんじ  
形成外科 診療科長 林田 健志

形成外科では、顕微鏡を用いたマイクロサージャリーにより、様々な疾患の治療を行っています。その手技と医療機器の発達により、口径1mm以下の血管やリンパ管も吻合可能な時代に突入しています。手術用顕微鏡の開発スピードも凄まじく、当院でも世界最新の最大倍率77倍の高解像度手術顕微鏡システムが導入され、今までにない手術が可能となります。この顕微鏡を用いて、スーパーマイクロサージャリーと呼ばれるリンパ管細静脈吻合や、低侵襲切開による眼瞼下垂手術、糖尿病性足壊疽の再建手術などがより容易に、かつ患者さんへの侵襲が少ない状態で行うことができます。また、当院への搬送が急増している外傷症例の、顔面神経断裂や指切断例に対しても精度の高い再建が可能で、良好な機能回復が実証されるはずです。国内トップレベルの形成外科医療を提供できる体制が整いつつあり、地域の先生方にはこれまでと同様な、ご指導とご支援を今後もいただければ幸いです。



術前



術後

図1 超微細技術を応用した眼瞼下垂手術  
瘢痕は小さく、肩こりなどの付随症状も改善しました。



術後

図2 超微細技術による熱傷瘢痕の手術  
熱傷瘢痕により下口唇が引きつり、食事がしづらい状況でしたが、大腿部からの組織移植を顕微鏡下に行い、食事ができるようになりました。



島大病院ニュース 2018年8月

# お知らせ



## ワークライフバランスセミナー 「すべての人の健康と幸福に向けて： ワーク・ライフ・バランスから考える持続可能な働き方」

地域医療支援学講座 准教授 さの ちあき 佐野 千晶

この度、ワークライフバランスセミナーを開催いたします。島根大学医学部附属病院は、働きやすい病院機能評価を大学病院で初めて認定されました。また、院内保育・病児保育に加え、今年度は病院敷地内に学童クラブが設置されました。しかしながら、医療の担い手である医療人自身の「健康」「幸福(ハッピー)」を考えると、まだまだ改善の余地があるように思われます。高いパフォーマンスを上げ、ストレスをリセットするためには、どんな取り組みがあるのでしょうか。

医療関係者、病院職員、学生さんなど多くの皆様のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成30年 9月 27日(木) 18:00~:19:30  
**場所** 島根大学医学部講義棟 1F 国際交流ラウンジ  
**講師** 島津 明人 先生 北里大学 人間科学教育センター 教授

研究テーマ:「ワーク・エンゲイジメント」「ストレス対策」「ワーク・ライフ・バランス」といった、企業組織における人々の活性化・メンタルヘルス、精神保健学、産業保健心理学。著書:『自分でできるストレス・マネジメント』『じょうずなストレス対処のためのトレーニングブック』など



**申込** 地域医療支援学 TEL&FAX: 0853-20-2558 [en-net@med.shimane-u.ac.jp](mailto:en-net@med.shimane-u.ac.jp)

人数把握のため、なるべく事前申し込み願います。  
事前予約で託児できます。

主催: 島根大学医学部地域医療支援学  
共催: 島根大学医学部附属病院ワーク・ライフ・バランス支援室  
島根大学男女共同参画推進室



託児あり  
ご希望の方は  
2週間前までに  
ご連絡ください。



平成30年8月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



平成30年8月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

